

平成23年3月期 第2四半期決算説明会 データブック

平成22年11月25日
シダックス株式会社
(JASDAQ スタンダード : 4837)



平成23年3月期 第2四半期決算トピックス

I. 連結経営成績 [短信 サマリー及び【添付資料】2～3ページ記載]

我が国経済は、長引く円高や株価の低迷等により、景気の見通しは不透明。個人消費も、節約志向状態。当社グループでは、総合力を活かした営業開発、カラオケ新機種の設定及び春夏キャンペーン企画等による売上維持拡大戦略、一元物流食材への切替え促進、販売費及び一般管理費のコストコントロールを実施。しかし、個人消費の低迷、猛暑の影響もあり、主にレストランカラオケ事業の売上高減少に伴う粗利益減少により大変厳しい結果。

■ 平成23年3月期 第2四半期連結決算ハイライト

(単位:百万円)

	平成22年3月期				平成23年3月期				平成23年3月期	
	第2四半期累計(実績)		通期(実績)		第2四半期累計(実績)		PL前年同期比/BS前期末比		第2四半期累計(計画)	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	期初予想	差額
売上高	101,161	100.0%	202,591	100.0%	97,568	100.0%	△ 3,592	△3.6%	100,000	△ 2,431
売上原価	88,597	87.6%	175,427	86.6%	87,463	89.6%	△ 1,134	△1.3%	—	—
売上総利益	12,564	12.4%	27,163	13.4%	10,105	10.4%	△ 2,458	△19.6%	—	—
販売費及び一般管理費	10,059	9.9%	20,112	9.9%	9,913	10.2%	△ 145	△1.4%	—	—
営業利益	2,504	2.5%	7,051	3.5%	191	0.2%	△ 2,312	△92.3%	2,500	△ 2,308
営業外損益	△ 238	—	△ 200	—	△ 388	—	△ 149	—	—	—
経常利益	2,265	2.2%	6,851	3.4%	△ 196	△0.2%	△ 2,462	—	2,000	△ 2,196
特別損益	△ 141	—	△ 1,309	—	△ 1,991	—	△ 1,849	—	—	—
四半期(当期)純利益	450	0.4%	881	0.4%	△ 1,885	△1.9%	△ 2,335	—	△ 700	△ 1,185
総資産	105,430	—	108,034	—	101,804	—	△ 6,230	△5.8%	/	
純資産	22,738	—	23,023	—	19,744	—	△ 3,278	△14.2%		
自己資本	22,586	—	22,920	—	19,644	—	△ 3,275	△14.3%		
自己資本比率	21.4%	—	21.2%	—	19.3%	—	△1.9%	—		
ROE(自己資本当期利益率)	2.0%	—	3.9%	—	△8.9%	—	△10.8%	—		
ROA(総資産経常利益率)	2.1%	—	6.4%	—	△0.2%	—	△2.3%	—		

(注)【ROE】=四半期(当期)純利益/自己資本合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)、【ROA】=経常利益/総資産合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)

【売上高】975.6億円(期初予想対比△2.4%)

- コントラクト・メディカルFS事業・・・経済情勢の悪化に伴う受託先企業の契約見直しや既存店舗の解約などの影響を受け、期初予想を2.6億円下回る。
- レストランカラオケ事業・・・個人消費の低迷に加え、例年ない猛暑の影響などにより、期初予想を21.1億円下回る。
- スペシャルティレストラン事業・・・北米市場において低価格帯レストランのお客数回復により、期初予想を1.1億円上回る。
- トータルアウトソーシング事業・・・官公庁の車両管理業務及び一括受託業務の低価格入札を避けた結果、期初予想を5.3億円下回る。

【営業利益】1.9億円(期初予想対比△92.3%)

【経常利益】△1.9億円(期初予想は20億円の経常利益)

【四半期純利益】△18.8億円(期初予想は7億円の四半期純損失)

- 一元物流食材への切替促進、材料・労務費管理など業務効率の改善を図るとともに、販売費及び一般管理費においてもコストコントロールを図ったが、レストランカラオケ事業での売上高減少による粗利益の減少を補うには至らず、各利益項目ともに期初予想を下回る。

II. 資産除去債務費用の計上について [8/6適時開示資料記載]

主にレストランカラオケ店舗及びスペシャルティレストラン店舗を全国展開するに当たり、土地所有者との間で事業用定期借地権契約又は事業用建物賃貸借契約等を締結しており、当該不動産賃貸借契約期間終了時の撤去又は原状回復に係る費用の見積額を算定し、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額20.2億円を特別損失として計上しました。

Ⅲ. セグメント別業績の増減説明

[短信【添付資料】2～3ページ及び14～16ページ記載]

■ セグメント別業績

(単位:百万円)

外部売上高	21年9月期	22年9月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	3,300	4,188	888	26.9%
コントラクトフード事業	17,059	16,382	△ 677	△4.0%
メディカルフード事業	19,251	19,005	△ 245	△1.3%
レストランカラオケ事業	25,620	23,213	△ 2,406	△9.4%
スペシャリティールレストラン事業	8,976	8,913	△ 63	△0.7%
コンビニエンス中食事業	6,045	6,199	154	2.5%
トータルアウトソーシング事業	19,398	18,112	△ 1,285	△6.6%
その他	1,509	1,553	43	2.9%
消去及び全社	—	—	—	—
外部売上高 計	101,161	97,568	△ 3,592	△3.6%

内部売上高	21年9月期	22年9月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	23,887	23,267	△ 619	△2.6%

(単位:百万円)

セグメント利益(注)	21年9月期	利益率	22年9月期	利益率	増減額	増減率
エスロジックス事業	2,240	8.2%	2,228	8.1%	△ 12	△0.5%
コントラクトフード事業	1,051	6.1%	876	5.3%	△ 174	△16.6%
メディカルフード事業	458	2.4%	486	2.6%	27	6.1%
レストランカラオケ事業	581	2.3%	△ 1,540	△6.6%	△ 2,121	—
スペシャリティールレストラン事業	△ 660	△7.3%	△ 383	△4.3%	277	—
コンビニエンス中食事業	196	3.3%	209	3.4%	12	6.4%
トータルアウトソーシング事業	1,119	5.7%	1,039	5.7%	△ 79	△7.1%
その他	166	7.0%	72	3.1%	△ 93	△56.4%
消去及び全社≒HQコスト	△ 2,647	—	△ 2,797	—	△ 149	△5.7%
営業利益	2,504	—	191	—	△ 2,312	△92.3%

(注)「セグメント利益」及び「利益率」は内部売上高を含み算出

□エスロジックス事業は、コントラクト・メディカルフードサービス事業及びレストランカラオケ事業の売上高減少の影響を受けましたが、一元物流食材の導入率アップによる購買スケールメリットの更なる追求などにより、セグメント利益は22.2億円と前期水準を維持しました。

□コントラクトフードサービス事業は、大手製造企業の生産調整・人員配置の見直しなどによる雇用環境の悪化の影響を受け、契約内容の見直し、解約などの結果、売上高は163.8億円(前年同期比4.0%減)、セグメント利益は8.7億円(前年同期比16.6%減)となりました。

□メディカルフードサービス事業は、病院などの経営環境が厳しい中、一元物流食材の導入率アップを図るとともに、業務効率の改善に努めた結果、セグメント利益は4.8億円(前年同期比6.1%増)と前期水準を維持しました。

□レストランカラオケ事業は、個人消費の冷え込みが依然として厳しい中、各種キャンペーン企画等の結果、第2四半期(7月～9月)においてお客様来店数に回復基調が見られたものの、その回復のペースが予想よりも遅く、来店数は前年同期比3.2%減となり、売上高は232.1億円(前年同期比9.4%減)、セグメント損失は15.4億円(前年同期は5.8億円の利益)と厳しい結果となりました。

□スペシャリティールレストラン事業における国内市場は、個人消費の落ち込みによる外食離れなどの影響を受けましたが、北米市場における観光・行楽施設内の低価格帯レストランのお客様来店数が回復したため、売上高は89.1億円(前年同期比0.7%減)と前期水準を維持しました。利益面においては、材料費及び労務費の一層のコストコントロールを行った結果、セグメント損失は3.8億円(前年同期は6.6億円の損失)となりました。

□コンビニエンス中食事業は、病院などの経営環境が厳しい中、大手コンビニや多業態からの攻勢などにより厳しい経営環境にあります。新規店舗を20店獲得するとともに、店舗外の売上獲得強化策や労務費及び廃棄ロスの徹底管理による収益性の向上に努めた結果、売上高は61.9億円(前年同期比2.5%増)、セグメント利益は2.0億円(前年同期比6.4%増)と前期水準を維持しました。

□トータルアウトソーシング事業は、地方自治体の財政縮減や民間企業のコスト削減等の厳しい経営環境が続く中で、安易な価格競争に走らず受注の絞り込みを行った結果、車両管理事業・社会サービス事業ともに新規受託件数が減少し、売上高は181.1億円(前年同期比6.6%減)となりました。利益面においても、民間における解約・値引き要請等の影響により、セグメント利益は10.3億円(前年同期比7.1%減)となりました。

IV. 連結貸借対照表の増減説明

[短信【添付資料】3ページ及び6～7ページ記載]

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	22年3月期	22年9月期	増減額
現金及び預金	13,823	8,490	△ 5,332
売上債権	13,467	12,972	△ 494
その他流動資産	8,388	7,594	△ 793
有形固定資産	34,977	34,728	△ 249
のれん	12,005	11,524	△ 480
敷金及び保証金	11,756	12,033	276
その他固定資産・投資等	13,615	14,459	843
資産計	108,034	101,804	△ 6,230

(単位:百万円)

	22年3月期	22年9月期	増減額
仕入債務	8,584	9,483	899
借入金・社債(短期・長期)	48,671	45,398	△ 3,272
リース債務(短期・長期)	7,663	7,202	△ 461
その他負債	20,092	19,975	△ 116
純資産	23,023	19,744	△ 3,278
自己資本比率	21.2%	19.3%	△ 1.9%

□総資産は、前期末に比べ62.3億円減少し1,018億円(前期末比5.8%減)となりました。

流動資産は、現金及び預金が53.3億円減少したことなどにより、前期末に比べ66.2億円減少し290.5億円となりました。固定資産は、前期末に比べ3.9億円増加し727.4億円となりました。

□負債は、前期末に比べ29.5億円減少し820.5億円(前期末比3.5%減)となりました。

流動負債は、前期末に比べ1.5億円減少し416.6億円となりました。固定負債は、「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴い資産除去債務を30.5億円計上した一方、社債及び長期借入金が52.1億円及びリース債務が4.5億円減少したことなどにより、前期末に比べ27.9億円減少し403.9億円となりました。

□純資産は、前期末に比べ32.7億円減少し197.4億円(前期末比14.2%減)となりました。

純資産減少の主因は、四半期純損失18.8億円の計上及び剰余金の配当6.1億円により利益剰余金が24.9億円減少したことに加え、取締役会決議による自己株式取得により自己株式が6.5億円増加したことによります。

以上の結果、当第2四半期末における自己資本比率は、前期末に比べ1.9ポイント低下し19.3%となりました。

V. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減説明及び財政状態の説明

[短信【添付資料】3～4ページ及び10～11ページ記載]

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	21年9月期	22年9月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	3,553	2,818	△ 734
投資活動キャッシュ・フロー	△ 1,244	△ 819	424
財務活動キャッシュ・フロー	△ 4,123	△ 7,024	△ 2,900
換算差額	35	△ 7	△ 43
現金・同等物期末残高	11,706	8,258	△ 3,447

□営業活動の結果得られた資金は28.1億円(前年同期比20.7%減)となりました。

これは主に、「税金等調整前四半期純損失」21.8億円の計上及び「法人税等の支払額」が16.7億円あった一方、「減価償却費」が34.3億円、「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」が20.2億円及び「未収入金の減少」が9.3億円あったことによります。

□投資活動の結果使用された資金は8.1億円(前年同期比34.1%減)となりました。

これは主に、「有形固定資産の売却による収入」が10.5億円あった一方、レストランカラオケ店舗及びスペシャリティレストラン店舗の新規オープン等に伴う「有形固定資産の取得による支出」が12.8億円あったことによります。

□財務活動の結果使用された資金は70.2億円(前年同期比70.3%増)となりました。

これは主に、「短期借入金の純増」が19.8億円あった一方、「社債・長期借入金の純減」が51.2億円、「リース債務の返済による支出」が26.1億円、「配当金の支払額」が6.1億円及び「自己株式の取得による支出」が6.5億円あったことによります。

以上の結果、当第2四半期末における「現金及び現金同等物」は、前期末に比べ50.3億円減少し82.5億円(前期末比37.9%減)となりました。

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	21年9月期	22年3月期	22年9月期
自己資本比率(%)	21.4	21.2	19.3
時価ベースの自己資本比率(%)	14.4	14.0	11.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	783.8	505.0	933.1
インデット・カバレッジ・レシオ(倍)	5.2	8.2	4.3

■ 有利子負債等残高の推移

(単位:百万円)

	21年9月期	22年3月期	22年9月期	増減額
借入金・社債	51,943	48,671	45,398	△ 3,272
リース債務	3,759	7,663	7,202	△ 461
未経過リース料期末残高相当額(注)	7,091	5,227	4,244	△ 982
合計	62,794	61,562	56,845	△ 4,716

(注) 不動産リース取引は除く

VI. 平成23年3月期の通期連結業績予想

[短信 サマリー 及び【添付資料】4ページ記載]

■ 平成23年3月期通期の連結業績予想につきましては、レストランカラオケ事業によりやく回復の兆しが見え始めてきたこと、また、通常第3・4四半期に収益が期待できることなどから、期初に発表した業績予想を変更しておりません。

(単位:百万円)

	22年3月期 実績	23年3月期 計画	増減額	増減率
売上高	202,591	208,000	5,409	2.7%
営業利益	7,051	8,000	949	13.5%
経常利益	6,851	7,000	149	2.2%
当期純利益	881	1,000	119	13.5%

VII. セグメント別店舗数推移表

21年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		47	7	2		2	1	59	5	1	2	3	3	2	75
	減少		9	7	7	6	4	7	40	5	7	8	4	6	86	156
	残	1,538	1,576	1,576	1,571	1,565	1,563	1,557	1,557	1,557	1,551	1,545	1,544	1,541	1,457	1,457
メディカル	増加		39	2	2	2	1	3	49	3	1	1	0	0	1	55
	減少		6	5	8	4	4	8	35	3	3	4	6	4	43	98
	残	935	968	965	959	957	954	949	949	949	947	944	938	934	892	892
レストランカラオケ	増加		0	0	1	2	0	1	4	2	0	0	0	0	0	6
	減少		0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	1	0	0	4
	残	302	302	302	303	305	302	303	303	305	305	305	304	304	304	304
車両 管理台数	増加		304	36	35	26	17	18	436	220	15	21	27	8	8	735
	減少		239	31	52	42	27	23	414	74	44	41	46	25	56	700
	残	3,902	3,967	3,972	3,955	3,939	3,929	3,924	3,924	4,070	4,041	4,021	4,002	3,985	3,937	3,937
社会 管理人員	増加		1,106	61	102	50	47	42	1,408	34	30	75	26	18	24	1,615
	減少		542	61	71	43	28	20	765	63	72	59	32	19	39	1,049
	残	4,357	4,921	4,921	4,952	4,959	4,978	5,000	5,000	4,971	4,929	4,945	4,939	4,938	4,923	4,923
コンビニエンス中食	残	352			358				367			369			353	

22年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		28	4	2	2	3	1	40	7	4	3	3	0	1	58
	減少		5	6	6	5	4	14	40	1	5	4	4	6	80	140
	残	1,457	1,480	1,478	1,474	1,471	1,470	1,457	1,457	1,463	1,462	1,461	1,460	1,454	1,375	1,375
メディカル	増加		40	3	2	7	0	1	53	2	3	4	0	2	1	65
	減少		8	5	5	9	6	4	37	4	3	1	6	8	33	92
	残	892	924	922	919	917	911	908	908	906	906	909	903	897	865	865
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	減少		0	0	0	1	1	2	4	0	0	0	0	0	0	4
	残	304	304	304	304	303	303	301	301	301	302	302	302	302	302	302
車両 管理台数	増加		1,174	32	25	39	17	31	1,318	34	19	27	23	13	16	1,450
	減少		443	101	58	44	34	25	705	63	21	21	31	11	30	882
	残	3,937	4,668	4,599	4,566	4,561	4,544	4,550	4,550	4,521	4,519	4,525	4,517	4,519	4,505	4,505
社会 管理人員	増加		1,819	71	63	125	218	100	2,396	35	47	45	84	16	14	2,637
	減少		897	95	43	49	63	51	1,198	53	56	31	65	15	19	1,437
	残	4,923	5,845	5,821	5,841	5,917	6,072	6,121	6,121	6,103	6,094	6,108	6,127	6,128	6,123	6,123
コンビニエンス中食	残	353			358				359			354			351	

23年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		30	6	1	3	3	5	48							
	減少		6	2	5	10	6	7	36							
	残	1,375	1,399	1,403	1,399	1,392	1,389	1,387	1,387							
メディカル	増加		38	5	4	3	3	3	56							
	減少		4	1	3	6	2	7	23							
	残	865	899	903	904	901	902	898	898							
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	1	0	1							
	減少		0	1	0	0	0	0	1							
	残	302	302	301	301	301	302	302	302							
車両 管理台数	増加		275	30	30	40	14	16	405							
	減少		1,155	25	22	29	25	14	1,270							
	残	4,505	3,625	3,630	3,638	3,649	3,638	3,640	3,640							
社会 管理人員	増加		1,040	30	60	17	110	43	1,300							
	減少		680	67	45	33	38	26	889							
	残	6,123	6,483	6,446	6,461	6,445	6,517	6,534	6,534							
コンビニエンス中食	残	351			365				369							

VIII. レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

21年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		4,767,765	5,010,133	4,416,644	4,810,008	5,950,085	4,552,766	29,507,400	4,396,448	4,666,879	7,400,226	5,505,085	3,978,396	4,906,002	60,360,436
客数(千人)		3,032	3,208	2,877	3,198	3,995	3,053	19,363	2,838	2,917	3,889	3,342	2,656	3,308	38,313
22年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		4,173,605	4,692,966	3,805,344	4,241,815	4,799,682	3,966,683	25,680,094	3,754,371	3,657,515	6,332,419	4,865,838	3,420,330	4,368,854	52,079,420
客数(千人)		2,698	2,996	2,496	2,719	3,131	2,678	16,718	2,437	2,351	3,379	3,063	2,351	3,098	33,397
23年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		3,784,031	3,929,508	3,368,268	3,976,487	4,466,276	3,738,892	23,263,462							
客数(千人)		2,550	2,704	2,395	2,772	3,137	2,622	16,179							